

# 令和2年ハブクラゲ発生注意報発令要領

## 1 趣旨

本県には、猛毒を持つハブクラゲが生息し、年間100～200人前後の刺症被害が発生している。

これから本格的な海水浴シーズンを迎え、海に出入りする機会が多くなるが、ハブクラゲは6月頃から人体に被害を与える大きさに成長するため、マリンレジャーの際には十分注意する必要がある。

このようなことを鑑み、広く県民及び観光客に対し、ハブクラゲ刺症についての注意を喚起し、ハブクラゲによる被害の未然防止を図る。

## 2 発令期間

令和2年6月1日（月）～9月30日（水）

## 3 広報活動

- (1) 県内の報道機関に対し、注意報発令の趣旨、ハブクラゲ刺症に関する情報等を提供し、ハブクラゲ刺症防止について協力を要請する。
- (2) 県の機関や市町村、各種団体等に対し、注意報発令を通知し、リーフレット、ポスター等を配布するとともに、各種広報媒体への掲載を依頼する等協力を呼びかける。
- (3) ハブクラゲ発生注意報 別紙のとおり

# 令和2年ハブクラゲ発生注意報

本県の海には、猛毒を持つハブクラゲが生息し、一年のうち6月はじめ頃から人体へ影響を及ぼす大きさに急激に成長します。この時期は、海水浴、マリレジャー等で海への出入りが多く、刺症被害も多く発生しています。

令和元年は、ハブクラゲ等海洋危険生物による刺咬症被害166件の内、37件（約22%）がハブクラゲによるものです。

県では、令和2年6月1日から9月30日までの間、ハブクラゲ発生注意報を発令し、広く県民や国内外から訪れる観光客に対し、ハブクラゲによる刺症被害を未然に防止するよう呼びかけます。

ハブクラゲ刺症を未然に防ぐには、

- ①海水浴をする場合は、肌の露出を避け、ハブクラゲ侵入防止ネットの内側で泳ぎましょう。
- ②海に出かける際には、酔（食酔）を持参しましょう。

ハブクラゲに刺された場合は、落ち着いて対処し、

- ①まず海から上がり、激しい動きをしないで、近くにいる人に助けを求めましょう。
- ②刺された部分はこすらずに、酔（食酔）をたっぷりかけて触手を取り除いた後、氷や冷水で冷やしましょう。
- ③応急処置をし、医療機関で治療を受けるようにしましょう。

ビーチ管理者は、ハブクラゲ侵入防止ネット内での刺症事故が発生しないよう、ネットの管理を徹底しましょう。

令和2年6月1日

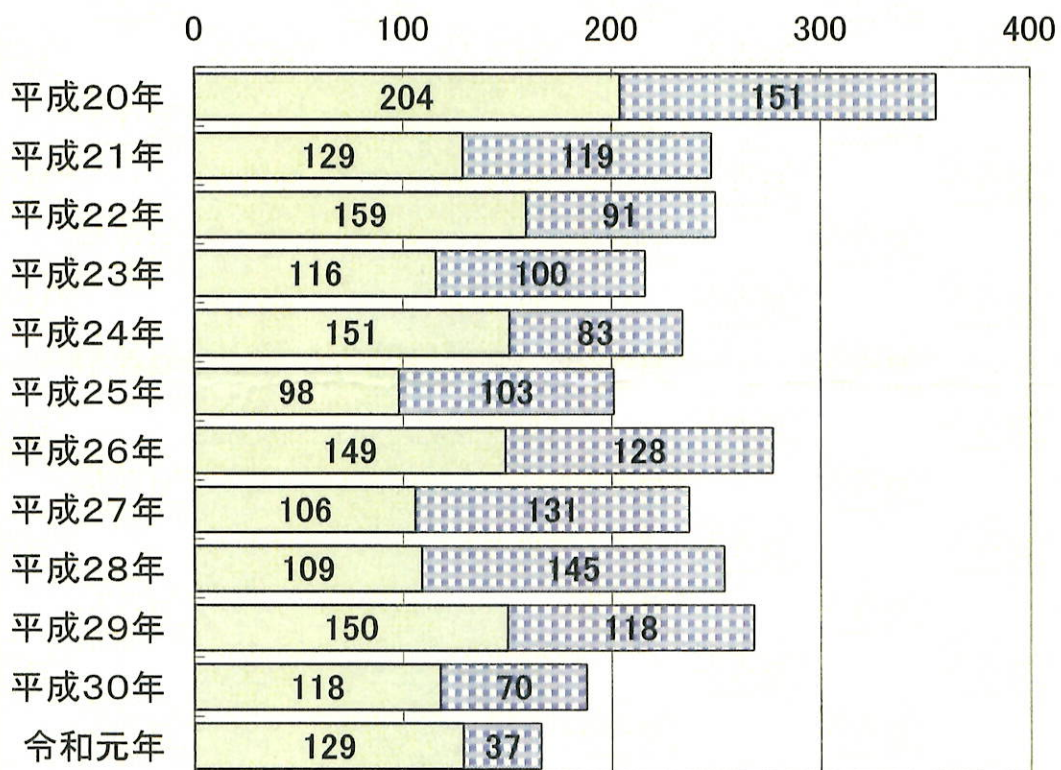
沖縄県保健医療部長

大城 玲子

## ハブクラゲ等海洋危険生物被害件数年間推移

	ハブクラゲ以外被害件数	ハブクラゲ被害件数	合 計
平成20年	204	151	355
平成21年	129	119	248
平成22年	159	91	250
平成23年	116	100	216
平成24年	151	83	234
平成25年	98	103	201
平成26年	149	128	277
平成27年	106	131	237
平成28年	109	145	254
平成29年	150	118	268
平成30年	118	70	188
令和元年	129	37	166
合 計	1,618	1,276	2,894

ハブクラゲ等海洋危険生物被害件数年間推移 (件)



□ハブクラゲ以外被害件数 □ハブクラゲ被害件数

## Habu Jellyfish Outbreak Advisory (2020)

The oceans of Okinawa are home to the habu jellyfish, a highly venomous species. Starting around June of each year, these jellyfish grow large enough to pose a danger to humans. Because this coincides with beach season, every year there is a surge in the number of sting victims.

In 2019, there were 166 incidents of people being stung or bitten by dangerous sea creatures. Of these, 37 incidents (approx. 22%) were caused by habu jellyfish.

Okinawa has issued a Habu Jellyfish Outbreak Advisory for the period of June 1 to September 30, 2020. We call on local citizens as well as visitors from mainland Japan and abroad to take every precaution in order to avoid being stung by the habu jellyfish.

### **To prevent jellyfish stings:**

1. Expose as little skin as possible when swimming, and stay inside of the jellyfish netting's safe zone when swimming at the beach.
2. Bring vinegar when going to the beach.

### **If stung by a jellyfish, remain calm and take the following steps:**

1. Get out of the water and seek help from others nearby without making any large or sudden movements.
2. Do not scratch the affected area. Pour vinegar liberally over the sting, and cool the affected area using ice or cold water after removing any tentacles.
3. After applying first aid, seek medical help at a hospital or clinic.

Beach custodians are responsible for properly placing and thoroughly checking the safety nets so that no one is stung within them.

June 1, 2020

Okinawa Prefecture Department of Public Health and Medical Care

Reiko Oshiro

## 2020年毒海蜇发生警报

在冲绳县的海里生长着具有猛毒性的海蜇，这些海蜇从每年的6月份开始迅速生长到能给人体造成影响的规模。这个时期，享受海水浴和海上运动的人逐渐增加，进入海里的机会也增多，被海蜇刺伤的事情也频繁的发生。

2019年被毒海蜇以及其他海洋危险生物咬伤，刺伤的事件一共发生了166件，其中37件（约22%）是由毒海蜇引起的。

冲绳县在2020年6月1号至9月30号期间，发布了毒海蜇发生注意警报，呼吁广大县民以及从日本国内，海外到冲绳旅行的游客们注意防止被毒海蜇刺伤。

怎样防止被毒海蜇刺伤：

- ①在进行海水浴的时候，尽量避免将皮肤暴露出来并请在设置了防毒海蜇网的区域内进行，不要游出为防止毒海蜇侵入而设置的防护网。
- ②在进行海边活动，海上运动时请带上一瓶醋（食醋）。

如果被毒海蜇刺伤，请冷静进行处理：

- ①首先从海里上岸，不要进行剧烈的活动，向附近的人求助。
- ②不要去搓揉被刺伤的部分，将醋（食醋）浇在伤口处然后小心的将刺取掉后用冰块或者冷水对伤口进行冷却。
- ③在进行应急处理后，请到医疗机构接受治疗。

海滩的管理者，为了防止发生在防毒海蜇网区域内的刺伤事故，请严格对毒海蜇防护网进行设置和管理。

2020年6月1日

冲绳县保健医疗部长

大城 玲子